

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	神学部
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

○2009年度からの目標

<p>1. 神学部の専門領域〔聖書学（旧約聖書学・新約聖書学）、歴史神学、組織神学（宗教哲学を含む）、実践神学〕とその内容について学部の内外に周知を図ると共に、神学部の理念・目的との関連について定期的な検証を行う。</p> <p>2. 上記専門領域を基礎とした履修コース（キリスト教神学・伝道者コースおよびキリスト教思想・文化コース）それぞれの意義付けを、カリキュラム編成に生かす。</p> <p>【神学部の理念・目的】 神学部は、「キリスト教の伝道に従事すべく選ばれた者を鍛錬する」（関西学院創立時制定の「憲法」第二款「目的」）ことを理念とし、これに則って、キリスト教神学の基礎と専門領域双方の教育を行う。その目標とするところは、人間を自然と社会、思想と文化との関わりにおいて考察し、そこにある問題を探り出し、今日における生の意味や生きることの規範を見出して、それをキリスト教の福音に基づいて広く他者に伝え、社会に奉仕する人材を育成することにある。</p> <p>神学部の専門領域は、伝統的なキリスト教神学と、これらと密接な関連をもつ学際的研究領域から成り立っているが、神学部はキリスト教神学を聖書学（旧約聖書学・新約聖書学）、歴史神学、組織神学（宗教哲学を含む）、実践神学の4つに構成している。さらに2004年度から、神学部存立の理念をより拡大し、社会の要請に応えることを意図して、キリスト教が人類の歴史の中で生み出してきた思想および文化的財に関する学際的な研究領域として、キリスト教思想、キリスト教文化のカリキュラムを設けた。当面の目標は、この新たな分野での人材育成を実現させることであるが、これに加えて以下の点を、教育目標および人材育成の目標とする。</p> <p>1. 基礎学力の錬成 キリスト教に関する基礎的な知識を修得する。</p> <p>2. 全人的教育による対話能力の育成 少人数の授業によって、学問研究の基礎を学ぶと共に、人間関係を築き、担当教員との人格的なふれあいを通して、人格の陶冶を目指す。</p> <p>3. 健全な社会人の育成 キリスト教全般にわたる基礎知識に裏打ちされ、しかも、現代の社会と人間に対する洞察力を持ち、明確な人権意識を持って、柔軟に思考することのできる職業人を育成する。</p>
--

○指標

<p>1. 履修モデルの作成と公開（WEB等の広報媒体への掲載、履修指導への反映〔心得に掲載〕）</p> <p>2. コース名称の変更とカリキュラムの改訂（ともに2011年度までに）</p>
